

34. やる気や自信

生活科は、対象に直接かかわる活動を大切にします。かかわることによって、驚いたり、新しいことを発見したり、様々なことに気付いたりします。そして、さらに意欲をもってかかわり続けると、活動の成果を感じ取り、子供の内面に「やる気や自信」を培います。

生活科の学習でねらっていることは、対象にかかわったり、対象から働きかけられたりする双方向のかかわりを通して、「やる気や自信」を育てることにあります。

やる気や自信を育てる

『やる気や自信』とは、広辞苑によれば、

『やる気』…物事を積極的に進めようとする目的意識

『自信』…自分の能力や価値を確信すること。自分の正しさを信じて疑わない心

とある。

○具体的な例として

「やる気」

「絵を描いてみよう」「話を聞こう」「発表しよう」「調べてみよう」などの『やってみよう』という挑戦的な気持ち。「もっと知りたい!」「見たい!」「行きたい!」などの『～したい!』という欲求的な気持ち。

「自信」

「やった!」「できた!」という喜びから、「自分でできる」「自分がやったから〇〇になったんだ」といった自分なりの成果や価値を感じた時の気持ち。

○やる気や自信を育てるための条件

- ・直接対象とかかわるようにさせる
- ・活動の楽しさを実感させる
- ・満足感や成就感を味わわせる
- ・他から認められる経験をさせる
- ・自己効力感をもたせる